

イシモチソウ

モウセンゴケ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅰ類

Drosera peltata Smith var. *nipponica* (Masam.) Ohwi

国カテゴリー

準絶滅危惧

選定理由

現存数及び産地がきわめて限られている。また全国的分布域からも貴重である。(現況:R-)

形態

根出葉は、はじめはあるが花期にはなくなる。茎葉はまばらに互生し、三日月形で表面と縁に長い腺毛が有り、基部は湾入して細い柄に直角に続く。花弁は白色、5弁で日中だけ開く。花柱は3個で、先が4深裂する。

国内分布

本州(関東以西)～九州、琉球(西表島)。

県内分布

南加賀区、中能登区。

生態など

高さ10～30cmの小形多年草である。開花期は5～6月。地下茎に球形の塊茎がある。腺毛の粘液で虫を捕まえる。

生育環境

湿った貧栄養の酸性土壤に生える。

危険要因

湿地開発、草地開発、土地造成、園芸採取、農業汚染(除草剤)、踏みつけ、管理放棄、自然遷移、産地局限、その他(草刈り時期、別荘地など)。



濱野一郎

分布図はありません。

県内の分布